



奉仕団ニュース

社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団

第34号 2022年7月

Tel 03-3202-0486

URL: <http://www.jcws.or.jp/houjin/houjintop>

Fax 03-3202-0487

光のあるうちに

理事長 ^{わたなべ} ^{きょう} 渡辺 教

5月の連休後、コロナの感染も下火となり外出や外食の制限、マスク着用にも変化の兆しが表れてきました。まだまだ予断は許さないものの、朝の散歩でもマスクを外している人も増え、「お早うございます」の挨拶も交わせるようになってきました。

日本キリスト教奉仕団ではこの2年半にわたりコロナ禍の影響は大きく、活動が大きな制約を受けてまいりました。そのような中でも福祉施設としての機能を維持し、各施設の活動を継続してることが出来たことは利用者とそのご家族、奉仕団を支援し心を寄せて下さる方々、職員一同の力を結集した賜物であると心から感謝いたします。

このところ、奉仕団の各施設でも以前の活気を取り戻しつつあります。座間のカレーレストラン「サラ」で食事をしていても近隣のお客様が次第に増えており、以前の賑わいが戻っているようで、接客担当の利用者さんの対応の表情や声にも明るさがわいてきているように感じられます。アガベ東京センター板橋福祉工場や新宿福祉作業所でも、仕事の受注も徐々に増加しており、国立国会図書館の複写受託センターの来館者も増加してまいりました。

また、奉仕団にとってアジア研修交流プログラムが3年ぶりに開講できたことは大変うれしいニュースとなりました。モンゴルからウヤング研修生を迎え5月20日から3週間にわたり研修を行いました。訪問した諸施設で日本の福祉制度や、職員の動き方、考え方、モンゴルとの比較などを熱心に学ばれていました。最終日には成果をまとめて大変貴重な研修結果を発表され、帰国される時の笑顔は満足と自信に満ちていらっしゃいました。

よくジャズの演奏は落語と似ていると言われます。アドリブや創作性、お客様の反応を感じての演技等が似ているのですが、落語にないジャズ特有のものがあります。それは演奏者同士の音による対話です。演奏

する相手の音を聞いて言葉はありませんが理解し、それに対して自分も反応するという対話 (Dialogue) です。人と人との対話と同じで単なる会話と違い相手の考えを理解するところから始り共感を残します。パソコンやスマホ等 IT の普及により以前から減少傾向にはあった対話はこのコロナの蔓延によって一気に減少しました。人と会うことや行動が制限され、各種施設や病院でも家族との面会も出来ない異常な状態が続きました。リモート会議の普及など便利になった面もありますが、画面から伝わる情報量は対面から見るとほんの僅かです。こうして、行動の制限が緩和されてくると、人と会い対話をするのが私たちにあっていかに楽しく、疎外感をなくし、大切で、また得られる情報量が桁違いに多いかに気づかされます。この2年間コロナ感染予防に終始してきましたが、その間にも福祉関係を取り巻く社会環境やニーズにも変化が起きています。しかし、AI化時代にあっても対面で相手の話を聞き、お互いの気持ちを理解する対話が福祉のホスピタリティの一番大切な原点であることにこれからも変わりはないでしょう。

「光の子となるために光のあるうちに、光を信じなさい。」(ヨハネによる福音書 12:36) とイエス様は言っています。光は神であり、光の子とは神を信じる人達です。でも、光はいつでも、どこでも、いつまでもあるわけではないのです。光のあるうちに出来ることを行うことが必要です。

コロナ禍、武力侵攻、威圧、制裁等暗いニュースが多い現在、私たちの心の中に鬱積されたモヤモヤを解消して、2022年度も世の中の変化を敏感に感じ、理解しつつ、ビジョンである「共に生き、共に歩む」の実現に向けて光を信じ光の中を進んでいきたいと思えます。これからも日本キリスト教奉仕団の活動にご理解とご支援をお願いいたします。

山田 耕二・登美子 (2回)	平井 俊彰	天使幼稚園
山田 田鶴子 (2回)	野上 正美	(愛媛県)
市川 健二・訓子	落合 宏 (2回)	長内 敬一
守谷 貞夫	和田 智章	(福岡県)
小松田 貞利 (2回)	廣瀬 利浩	市津 敏子
小川 喜道	澤田 芳巳	
小林 征司	高橋 瑞穂	
松沢 明子	高橋 和秋 (2回)	
松本 崇	高澤 京子 (2回)	
上村 浩 (2回)	匿名 27件	〈使途指定寄附金〉
森 章一	(山梨県)	16件 719,500円
真名子 南津子	富士吉田キリストの教会	
杉崎 真也	市川幼稚園・ひかりの家学園	(アガベセンターのために)
菅原 あいし	石井 幹博 (2回)	村山 鐵郎 (2回)
星野 修也	(新潟県)	水口 建子
正田 隆啓 (2回)	株式会社ベーシック (2回)	匿名 1件
西原 良信	(石川県)	(アガベ壱番館のために)
石川 琢馬	川上幼稚園	中塚 正彦 (2回)
石島 美智子	匿名 1件	匿名 5件
千葉 寿夫	(愛知県)	(アガベ作業所のために)
千葉 勝義	匿名 1件	赤い羽根共同募金年末たすけあい援護金
多田 寛一・名淵 智子	(京都府)	株式会社リハーツ
大井 啓太郎	同志社中学校	(東京都板橋福祉工場
大久保 啓二	越川 弘英	就労継続 B 型のために)
大南 和子 (2回)	匿名 1件	社会福祉法人東京都共同募金会
長谷川 三紹	(大阪府)	(アジア研修交流事業のために)
田口 弘子	堺教会	牧 由希子 (2回)
田中 誠一 (2回)	増池 重信	
田尾 敬延 (2回)	(兵庫県)	
渡辺 教 (2回)	関西学院宗教活動委員会	
島村 照一 (2回)	島田 恒 (2回)	
島村 美知子 (2回)	(奈良県)	
禿 準一	大和キリスト教会 支援委員会	
畠山 辰美	(鳥取県)	
板橋 毅	良善幼稚園	
飯河 保	(岡山県)	
樋口 哲夫	清心中学校・清心女子高等学校	
福井 信一	(広島県)	

2021 年度寄附金・献金の御礼とご報告

アジア研修交流事業

「アジア研修交流事業」では、1980 年以来からアジアの諸地域より障がい者福祉事業者を日本に招き、当奉仕団の福祉施設や近くの障がい者福祉施設を視察し、障がい者支援における研鑽を深めていただくという交流を行ってきました。これまでに、アジア 15 の国や地域から 84 名の研修生を受け入れてきました。

2021 年度は、モンゴル国のウランバートル市の「エネレル障がい者職業訓練校」で副校長として働くアディヤスレン ウヤングさんを研修生として日本に招待することにしました。しかし、コロナ禍の中で入国ビザ申請の許可が降りなかったために、実施の時期が遅れて 2022 年 5 月 20 日から 6 月 10 日にかけての実施となりました。

モンゴルと日本では、障がい者福祉制度はもちろん、障がい者に対するサービスの目的や理念にも大きな違いがあります。そのような違いを考慮しながら、座間市にあるアガベセンターや東京の板橋区、新宿区のアガベ東京センターを一週間かけて見学しました。そして、障がい者一人ひとりに合ったサービスを提供している姿に驚きと感動を覚えたようです。障がい者の意思を尊重したサービスを提供し、真心をもって障がい者に向き合っている職員の姿は、モンゴルでは見られない光景と映ったようでした。

アガベセンター以外にも八つの障がい者施設や特例子会社を見学しました。障がい者を小さい時に発見し対応することで、その子の将来をより良いものに変えて

いく可能性を視察することもできました。就労支援の施設や工場では、障がい者が働きやすいように補助器具を開発している現場も見ました。障がい児者の保護者に向けた支援や相談支援センターでは、地域の自治体と協働しながら保護者が孤立しないようにより良いものに整備されていました。

ここで学んだことの中には、モンゴルの法制度の違いや住民の意識や文化の違いなどによって、すぐに母国で実施できないものも少なからずあったようです。しかし、「地域住民や障がい者支援の指導者や政府に働きかけながら地道に活動を続けていけば、実際的な成果が表れる可能性が高いと思います。」と明るい未来を語っていました。

週末には、東京都内のスカイツリーや水族館、浅草を見学したり、鎌倉と江の島を訪問したりして、日本の文化や歴史に触れる経験もいたしました。今後、ここで学ばれたことを生かして、社会制度や文化も異なるモンゴルで障がい者福祉の働きに活躍されることを期待しています。

このような研修交流の働きは、その主旨に賛同する団体や個人の寄附金と献金によって支えられ運営されています。昨年度は特に日本 G&M 文化財団からの多大なご支援があったことをご報告させていただきます。皆様の心温まるご支援によって、この働きが継続されていることを心から感謝すると共に、今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



閉講式のあとの記念写真



伊藤忠ユニダスでの研修の様子

アガベセンター施設整備事業

アガベセンターは複数の施設で構成され、障害者支援施設のアガベ番館は 1999 年に開設した、重度の身体障がい者入所施設です。入所者の日々の生活を支える介護用ベッドの老朽化に対応して、皆様からのご寄附、献金はベッド 5 台の購入をした費用の一部に充当させていただきました。ありがとうございます。

今後も、温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



2021 年度 寄附金総額 238 件 2,361,258 円

ご芳名の敬称は省略させていただきます。

(北海道)	普連土学園 宗教委員会	翠ヶ丘教会 (日基教団)
燈台の聖母トラピスト修道院	明治学院高等学校	生田教会 (日基教団)
稚内ひかり幼稚園・きらきら保育園	シオン幼稚園	藤沢教会 (日基教団)
熊谷 トキ	原宿幼稚園	林間つきみ野教会
(群馬県)	桜美林幼稚園	フェリス女学院中学校高等学校
安中二葉幼稚園	西荻窪キリスト教会・西荻まこと幼稚園	横浜英和学院
(埼玉県)	草苑幼稚園	関東学院中学校高等学校
百瀬 一成	鶴川シオン幼稚園	湘南白百合学園小学校
(千葉県)	井上 徹哉	捜真学院
京葉中部教会 (日基教団)	菊地 哲郎	和泉短期大学
市川三本松教会 (日基教団)	宮岡 佳子 (2 回)	ドレーパー記念幼稚園
千葉本町教会	金井 和夫 (2 回)	伊勢原幼稚園
ソフィア幼稚園	後藤 省二	関東学院のびのびのば園
稲村 茂	高柳 富夫	厚木幼稚園
宮本 和武	坂本 千月 (2 回)	高座みどり幼稚園
匿名 2 件	山野井 道代	桜ヶ丘幼稚園
(東京都)	鹿村 洋人 (2 回)	相模翠ヶ丘幼稚園
カトリック・レデンプトール修道会 (2 回)	小原 江理子	アガベ献金箱
むさし小山教会 教会学校	松井 亮輔	株式会社カンテレ
弓町本郷教会 (日基教団)	西山 照美	株式会社さくらメンテナンス
原宿教会	石守 昭彦	株式会社小島組 (2 回)
聖書友の会	谷口 秀子	株式会社茶利シルバー事業部
早稲田教会 (日基教団) (2 回)	池亀 由美子	大澤商店
町田聖書キリスト教会	朝岡 光子	有限会社 水和
田園調布教会 (日基教団)	富岡 徹郎 (2 回)	井出 澄子 (3 回)
東村山教会 (日基教団)	鈴木 寛	井上 雅美
白鷺教会 (日基教団)	澁澤 浩二 (2 回)	遠藤 榮助
八王子栄光教会	高柳 恵介	皆川 美智子
霊南坂教会 (日基教団)	匿名 8 件	梶山 祥子
暁星小学校 シャミナード会	(神奈川県)	吉岡 基
玉川聖学院	横浜キリスト福音教会	金井 之広
恵泉女学園中学・高等学校	横浜海岸教会 (日キ教会)	金澤 正善
聖学院小学校	厚木キリスト教会	栗原 一成 (2 回)
青山学院初等部 (2 回)	厚木教会	古田 和彦
青山学院中等部	厚木上教会	佐藤 正雄
東洋英和女学院 中高部 宗教委員会	篠原教会	佐野 知子
日本聾話学校	新丸子教会 (日基教団)	山下 眞佐江 (2 回)